

# 明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

平成 29 年度第 6 号 3 月 23 日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

## 「こころ」

北海道新篠津高等養護学校長

前 川 互

少しずつ春の訪れを感じるようになった今日この頃です。学校は卒業式、修了式で一年間の教育活動の区切りとなりますが、生徒たちが元気に一年間過ごせたことをうれしく思います。

さる 3 月 3 日に第 23 回卒業証書授与式があり、60 名の卒業生が 12 年間の学校生活に別れを告げ、学び舎を巣立って行きました。卒業生の皆さんが、それぞれの道を元気に歩いて行ってくれることを願っています。

また、それぞれの学年の課程を修了し新たな学年に進級する生徒たちも一年間よく頑張り、大きく成長しました。新たな学年での学校生活に希望を膨らませていきましょう。

この一年、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきました保護者の皆様と地域並びに関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、私はこの 3 月で定年退職となります。私の教職のスタートは八雲養護学校でした。新卒で高等部 1 年生 5 名の担任となり、卒業まで持たせていただきました。筋ジストロフィーという難病の生徒たちなので、毎年 1 名がなくなり、卒業するときには 2 名でした。悲しさやつらさ、この世の不条理への怒りなどを味わいました。そんな生徒たちとの思い出や、駆け出しの教員時代に仕事に打ち込んだことが懐かしく思い出されます。そして、私にとりましては障がいのある子供たちの教育を生涯の仕事にする決意を持たせてくれた忘れがたい学校です。

それから今日に至るわけですが、この間はガリ版からパソコンへ、特殊教育から特別支援教育へと非常に変化の激しい時代であったと思います。そんな時代を教員として過ごしてきた私は、言い古されたことですが「教育は人なり」と言う言葉を大事にしてきました。

しばらく前から、教師は教育のプロであると見られるようになり、専門職にふさわしい専門性が必要であると言われるようになりました。高度な知識や指導力が教師に求められているのは当然なことだと思います。しかし私は、最近特に「教育は心だ。心を込めなきゃ教育は響かない。」と思います。世の中のいろんな出来事を見聞きしていると、なんだか自分勝手に小ずるい大人が多いと思いませんか？未来を作る子供たちへの教育的影響をもっと考えてと心ない大人たちに言いたくなることがあります。でも一方で、素晴らしい行いを見せてくれる心ある大人も沢山います。礼節を重んじる伝統のある我が国が、より人に優しい社会になることを願います。

いろんな人がいるこの世の中ですが、子供たちがまっすぐに、誇りをもって、心豊かに人生を生きるために、我々教師は、教育者として生徒を導くにふさわしい資質を磨かなければならないと感じます。「教育は人なり」、そして、「教育の核は心なり」なのだと思えます。3 年間大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 「卒業の季節に」

3学年主任 三田村 祐二

3年間の学びを終えて、生徒たちは卒業の季節を迎えました。

早い子は既に新生活を始めています。街角で時折見かける彼らは、しっかり「わかもの」の表情です。心配もありながらではありますが、在学中よりも少しだけ頼もしさを感じることができます。

教育の営みは、教育期間中の子ども自身にとっては、「???」と覚えることもあろうかと思えます。でも、学校を卒業した後の彼ら彼女らの卒業後の人生に少しでも役に立てば、という意図で様々な課題や試練(?)を個人に合わせて設定しています。出発地点も到着地点も進む速度も個人ごとに違うのですから、課題設定も個人ごとに違うのですが、最終のゴールは、各人ほぼ同じです。「しあわせ」がそのゴールの名前です。

学校卒業後の人生は70年ちかくあります。これからの人生が彼らにとって実り多いものとなりますように！



## 「卒業生を送る会」

生徒指導部 鈴木 貴志



3月1日(木)に3年生を送る会を行いました。生徒会役員を中心に1、2年生の各クラスから代表1名を選出して卒業生を送る会実行委員会として1月から準備を行ってきました。3年生を温かく送り出したい、心に残る会にしたいと放課後を使って一生懸命取り組みました。そして迎えた本番、趣向を凝らした学年や部活動の発表はどれも素晴らしいものでした。特に最後の3年生の発表は、3年間の想いが強く込められていて、1、2年生の心に大きく響きました。

## 「同窓会入会式」

進路指導部 3学年担当 石川 卓哉

2月27日(火)に同窓会入会式が行われ、無事に23回生が入会しました。その後、毎年恒例の先輩との交流会が行われました。今年は、同窓会長の他に3名の卒業生が講師として来校しました。一般就労の人、移行支援事業所で就労に向けて頑張っている人、移行业務所から一般就労を果たした人、グループホームで生活する人など異なる立場の卒業生に職場や生活の様子について講話をしてもらいました。

自分が1年生のときの3年生ということで、なじみのある先輩だったからでしょうか、誰も居眠りせずに真剣に聞いている姿が印象的でした。

今回卒業の23回生も来年再来年のこの場に、誰を呼んだら良いのか進路指導部を悩ませる活躍をしてほしいと思います。



## 「採用・利用内定通知書交付式」

進路指導部 3学年 担当 佐藤 隆夫



3年現場実習後の10月から1月にかけて、それぞれの進路希望先へ進路指導部が出向き、採用・利用決定の確認を行ってきました。その際に口頭内定をいただいていたものの、後日正式に「内定通知書」が届いたときは、ほっとして胸をなで下ろしました。

そして、卒業式間近の2月末、前川校長先生から「採用・利用内定通知書」を一人一人に手渡していただきました。担任と副担任に見守られながら、やや緊張した趣でしたが、「これから頑張っていきます！」と心強い言葉も聞かれ嬉しく思いました。新しい環境で不安もたくさんあると思いますが、今後の彼らの活躍を心から願っています。

## 転出者・退職者紹介

野 呂 善 信

退職

平成 15 年に新篠津に異動し、14 年間の勤務となりました。今年、学年主任として生徒の成長を実感できる立場として仕事をすることができました。彼らの純粋な心、ひたむきに取り組む姿は、私のエネルギーとなり私を支えてくれました。長い間、お世話になりました。ありがとうございました。

中 山 純 子

白樺高等養護学校へ

新篠津村のキャッチフレーズ「青空、緑、地平線。他に何もない贅沢」を堪能しながら、9年間勤めさせていただきました。生徒の皆さん、保護者の皆さん、村の皆さんとのすてきな出会いに支えられ、充実した日々を過ごせたことに感謝しています。ありがとうございました。

鈴 木 裕 子

札幌稲穂高等支援学校へ

新篠津の大好きなものたち…春の白鳥のV字編隊飛行、夏の爽やかな風、秋の実り、冬の厳寒の中の樹氷、そしてみんなの笑顔と一生懸命なまなざし。皆さんとお別れするのはとても寂しいですが、また新たな場所で素敵な物を見つけていきたいと思えます。9年間お世話になりました。ありがとうございました。

服 部 幸 次

夕張高等養護学校へ

赴任初日、田んぼで白鳥の姿を見て「自然がとても豊かだなあ」・・・あれから13年、あっという間の日々でした。たくさんの生徒と出会い、喜び、苦しみ、楽しんだこと全てが貴重な経験でした。次の赴任地でも精一杯頑張りたいと思えます。今までお世話になり本当にありがとうございました。

土 肥 夏 帆

美唄養護学校へ

嬉しい、悲しい、楽しい、悔しいなどたくさんの気持ちを生徒の皆さんと一緒に味わうことができた11年間は私の宝です。

次の学校でも、気持ちを合わせる瞬間を大事にしながら前向きな支援に努めたいと思えます。11年間ありがとうございました。

福 田 午 朗

退職

1年間大変お世話になりました。教員生活最後の1年間を新篠津で過ごさせていただき、貴重な経験を積ませていただきありがとうございました。情報や国語の授業などで、生徒と触れ合うことができ楽しかったです。生徒の皆さんは、一日一日を大切に生きて、充実した人生を過ごして欲しいと思えます。

佐々木 元 治

白樺高等養護学校へ

新篠津での8年間は、毎日が新たな発見の連続で、時がたつ早さを感じています。生徒一人一人の無限の可能性と、元気で明るく素直な姿に逆に僕の方が刺激とパワーをもらいました。生徒、保護者の皆様には、大変お世話になりました。これからも益々の御活躍を祈念しております。

千 葉 なぎさ

岩見沢高等養護学校へ

生活雑貨を作り、クリーニング作業で汗を流し、清掃やパン作りを経験しました。美味しい野菜やコーヒーを食べたり飲んだり…。自宅にはおしゃれな食器や木工製品がたくさんあります。学校と生徒のみんなが大好きでした。10年間ありがとうございました。

鈴 木 静 香



白樺高等養護学校へ

四季折々の美しい景色が楽しめる、新篠津が好きでした。10年という長い年月が「あっという間」と感じるのは、充実した楽しい時間を過ごすことができたからなのだと思います。皆さんのお陰です。長い間お世話になりました。本当にありがとうございました。

大 島 育 代

退職

このたび、寄宿舎職員としての生活を終え、退職することとなりました。新篠津の生徒たちとのたくさんの楽しい思い出を大事にしたいと思います。保護者の皆様、新篠津村の皆様、たくさんの御理解と御協力をありがとうございました。お世話になりました。

<p style="text-align: center;">酒 井 桂奈恵</p> <p style="text-align: right;">退職</p> <p>月日がたつのは早いもので、あっという間に定年退職の年齢になってしまいました。生徒たちの元気な挨拶、明るい笑顔にパワーをもらい、時には救われ楽しく充実した毎日を過ごすことができました。</p> <p>保護者の方をはじめ、多くの先生、生徒に支えられ、たくさんのことを学ぶことができました。本当にありがとうございました。</p>	<p style="text-align: center;">長谷田 真智子</p> <p style="text-align: right;">退職</p> <p>新篠津高等養護学校にお世話になり早 12 年、皆様に暖かく支えていただいて、何とか定年まで働くことができました。皆様、本当にありがとうございました。生徒にもたくさんのエネルギーをもらいました。長期休業明けは、生徒に早く会いたくて帰舎日が楽しみでした。最後に、皆様の今後のご活躍をお祈りしています。さようなら。</p>
<p style="text-align: center;">田 中 英 利</p> <p style="text-align: center;">小樽高等支援学校へ</p> <p>寄宿舎で運動やゲーム大会など先生、生徒と楽しく過ごした思い出がたくさん残せました。サッカーでは、村で「北海道高等養護学校サッカー大会」を始め、村が高校サッカーの「聖地」になるように大会運営に取り組みました。大会を通して新篠津村の方々にはとてもお世話になりました。新篠津の皆さん長い間本当にお世話になり、ありがとうございました。</p>	<p style="text-align: center;">小 熊 毅</p> <p style="text-align: center;">白樺高等養護学校へ</p> <p>自然豊かな新篠津で過ごした 9 年間、生徒の皆さんとはルームタイムでおやつを食べたり、色々な話をしたり、スポーツをしたり楽しく過ごすことができました。皆さんとお別れするのは寂しいですが、次の学校でも新たな出会いを大切にして頑張っていこうと思います。長い間お世話になりました。</p>
<p style="text-align: center;">山 地 一 大</p> <p style="text-align: right;">退職</p> <p>今年の卒業生たちと共にやってきた新篠津でしたが、幸いにも新篠津の冬の洗礼を受けることもなく、私もこの学校を卒業することとなりました。ここでの記憶を胸に抱いて、新たな場所でも自分なりに頑張っていこうと思います。職員の皆様、保護者の皆様には大変お世話になりありがとうございました。</p>	<p style="text-align: center;">野 村 洋 子</p> <p style="text-align: right;">退職</p> <p>一昨年の 9 月、御縁がありこちらの学校で勤めさせていただきました。高等養護学校は初めての勤務でしたので、様子が分からないことが多々ありましたが、素直で一生懸命な生徒たちから学んだことは私の財産となりました。感謝の気持ちでいっぱいです。</p>
<p style="text-align: center;">石 黒 正 大</p> <p style="text-align: right;">退職</p> <p>この学校に来てから 3 年半が過ぎ、このたび転出となりました。保護者の皆様をはじめ、多くの人に支えられながらたくさんのことを学ぶことができました。ここでの経験を生かしてこれからも頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。</p>	<p style="text-align: center;">鈴 木 愛</p> <p style="text-align: right;">退職</p> <p>新篠津高等養護学校では、一年間大変お世話になりました。赴任したとき、廊下で歩いていると生徒の皆さんが「おはようございます」と元気な声で挨拶してくれたのを覚えています。初対面の人でも、小さい声ではなく自然と大きな声で挨拶できる生徒はすごいなと感じました。いつまでも明るく元気な挨拶ができる皆さんでいてください。</p>
<p style="text-align: center;">芳 賀 未 恵</p> <p style="text-align: right;">退職</p> <p>このたび、新篠津高等養護学校を退職することになりました。新篠津高等養護学校は生徒の皆さんの頑張る姿がとても印象的でした。これから更なる飛躍を期待しています。短い期間でしたが、大変お世話になりました。どうもありがとうございました。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"> 編集後記</p> <p style="text-align: center;">今年度の学校だよりもこれで最終号となりました。一年間、ありがとうございました。来年度もどうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;"></p> </div>